

事業名

オレンジカフェ上京 ～上京区民の認知症の疾病観を変える～

実施団体

オレンジカフェ上京 実行委員会

認知症の人やご家族同士、認知症に対する不安を抱えた人々が気楽に語り合える場の提供と、疾病観を変化させることを目標に毎月のカフェ開催や昨年度実施した区民公開講座、ボランティア養成講座を開催しました

加えて、プリセプターシップマニュアルの作成に取り組むことや日本認知症ケア学会大会シンポジウムや認知症アドバンスサポーターフォローアップ研修で講演する機会がありました

毎月のカフェ

毎月1回(第4日曜日)に花友じゅらくだいで開催(平成30年3月にて計40回目)

・1日のカフェメニュー

①ミニレクチャー

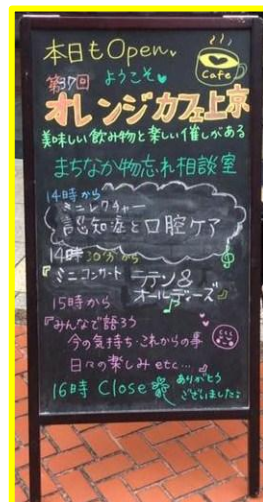
認知症と口腔ケア、
認知症と水分摂取など



②コンサート



③カフェタイム



- ・来店者数 平均18名
- ・当日スタッフ 平均19名
- 区民ボランティア、
有資格ボランティア
(介護専門職、看護師など)



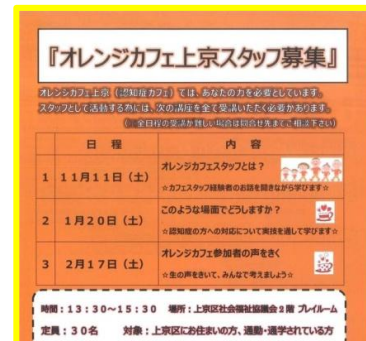
区民公開講座、ボランティア養成講座

区民公開講座

11名の方が参加され、オレンジカフェ上京の取り組みの理解に繋がりました

ボランティア養成講座

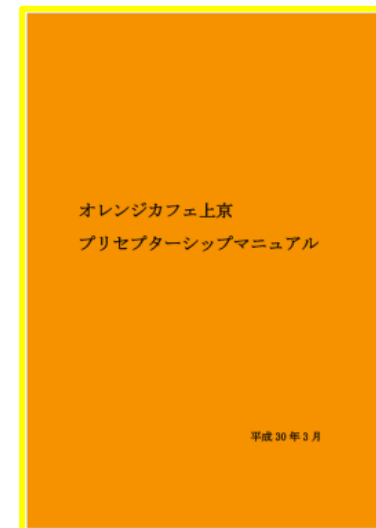
合計3回の講座を開催に4名の上京区民の方が参加し、来年度から市民ボランティアとして活動されます



プリセプターシップマニュアルの作成

既存の市民ボランティアが、新たに養成講座を修了した市民ボランティアに実践能力を伝え、お互いにスキルアップできる体制づくりのためにプリセプターシップマニュアルの作成を行いました

議論が完結せず、未完成となりましたが、市民ボランティアを交えて議論を行うことで市民ボランティアの役割が明確化できました



関係職種に対しての活動

介護専門職や医療専門職が集まる学会でのシンポジウムや認知症アドバンスサポーターに対しての研修にてオレンジカフェ上京の活動を知ってもらうことができました

また、市民ボランティアの方が講師として参加される機会がありました



日本認知症ケア学会大会のシンポジウムに4名が参加



フォローアップ講座に2名が参加

成果と今後の課題

【成果】

- ・これまでに作成した運営マニュアルやパンフレットを活用して、日々のカフェが運営できた
- ・区民公開講座や関係職種に対しての研修にも既存の市民ボランティアが講師として参加できるようになった
- ・プリセプターシップマニュアルの作成に取り組むことで、市民ボランティアの役割を明確にすることができた

【今後の課題】

- ・プリセプターシップマニュアルを完成し、見える状態での伝達ができる体制を作る
- ・来店者数確保のために広報方法の検討